

令和3年5月28日

市議会議員各位

防災安全部長

相模灘沿岸における高潮浸水想定区域の指定について

本日、神奈川県が、水防法の規定に基づき、相模灘沿岸における高潮浸水想定区域を指定・公表しましたので、次のとおり、その概要をお知らせします。

高潮浸水想定区域とは、相模灘沿岸における想定し得る最大規模の高潮により浸水する範囲について、浸水の深さ（浸水深）、浸水が継続する時間（浸水継続時間）を明らかにしたものです。

また、一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫や、護岸・堤防等を越波し飛散した水塊が到達する可能性がある区域を家屋倒壊等氾濫想定区域図として、併せて公表されています。

1. 指定年月日等

2021年（令和3年）5月28日

別紙1「神奈川県記者発表資料」を参照

2. 相模灘沿岸高潮浸水想定区域図等

(1) 高潮浸水想定とは

国内観測史上、最も大きな台風が、神奈川県の沿岸に最悪の被害を与える経路で襲来した場合を想定しています。

別紙2参照

神奈川県 HP「相模灘沿岸における高潮浸水想定区域について」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jy2/takashio/sagami-bay.html>

(2) 区域図等

別紙3参照

ア. 高潮浸水想定区域図（浸水区域及び浸水深）（浸水継続時間）

イ. 家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流）（越波）

ウ. 神奈川県における相模灘沿岸高潮浸水想定区域図の概要

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jy2/takashio/sagami-bay.html>

3. 本市の対応

ホームページ等により、市民への周知を図ります。

4. 問合せ先

神奈川県：神奈川県県土整備局河川下水道部砂防海岸課

なぎさグループ

045-210-6514

藤沢市：藤沢市防災安全部防災政策課

0466-50-8380

以上

(防災安全部 防災政策課)

相模灘沿岸における高潮浸水想定区域の指定等について

本県では、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の高潮に対する避難体制等の充実・強化のため、相模灘沿岸において、平成30年度から区域指定へ向けた検討を進めてまいりました。

このたび、平成31年4月に指定した東京湾沿岸に引き続き、相模灘沿岸においても、高潮浸水想定区域を指定ならびに高潮特別警戒水位を設定しましたので、お知らせします。

1 高潮浸水想定区域について

想定し得る最大規模の高潮により浸水する範囲について、詳細な地点での、浸水の深さ(浸水深)、浸水が継続する時間(浸水継続時間)を明らかにしましたので、これに基づき、高潮浸水想定区域を指定するとともに区域図を公表します。

また、一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫や、護岸・堤防等を越波し飛散した水塊が到達する可能性がある区域を家屋倒壊等氾濫想定区域図として併せて公表します。

※ 相模灘沿岸高潮浸水想定区域図等については、次のホームページに掲載します。

「相模灘沿岸における高潮浸水想定区域について」(県砂防海岸課ホームページ)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jy2/takashio/sagami-bay.html>

また、県砂防海岸課、沿岸土木事務所、及び県政情報センター等において、閲覧できます。

2 高潮特別警戒水位について

高潮による浸水の危険があり、特に警戒が必要となる水位として、新たに高潮特別警戒水位を設定しました。海岸の水位が高潮特別警戒水位に達した場合には、県は高潮氾濫発生情報(避難情報等における警戒レベル5相当情報)を発表し、報道機関等の協力を得てお知らせすることになります。

なお、警戒レベル5は、避難ができず、いまだ危険な場所にいる居住者等が、高い場所へ退避するなど、速やかに身の安全を確保するための情報であり、避難指示は、警戒レベル4(気象庁が発表する高潮警報等)で発令されます。

3 今後の取組

今後、県は、沿岸市町が取り組むこととなる高潮ハザードマップの作成など、具体的な避難対策について、技術的な支援を行ってまいります。

問合せ先

神奈川県県土整備局河川下水道部砂防海岸課
課長 加藤 電話 045-210-6500
なぎさグループ 和寺 電話 045-210-6514

プレビュー
閉じる

Translate
読み上げ / ぶりがな

くらし・安全・環境
健康・福祉・子育て
教育・文化・スポーツ
観光・名産
産業・働く
電子県庁・県

[ホーム](#) > [電子県庁・県政運営・県勢](#) > [県土・まちづくり](#) > [海岸・港湾](#) > [かながわの海岸・港湾・砂防林](#) > 相模灘沿岸における高潮浸水想定区域について

掲載日：2021年5月24日

相模灘沿岸における高潮浸水想定区域について

高潮浸水想定

高潮浸水想定区域の指定について

平成27年の水防法改正により、高潮に対する避難体制の充実・強化のため、想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域を指定・公表する制度が創設されました。

この水防法の規定に基づき、本県では、想定し得る最大規模の高潮による浸水の危険性を県民の皆様にお知らせし、対策を講じるために「高潮浸水想定区域図」を作成し、浸水が想定される区域を「高潮浸水想定区域」として指定しました。

また、一般的な建築物の倒壊・流失をもたらすような氾濫や、護岸・堤防等を越流し飛散した水塊が到達する可能性のある区域を家屋倒壊等氾濫想定区域図として併せて公表します。

「高潮浸水想定区域図」の作成にあたっては、国が作成した「高潮浸水想定区域図作成の手引き（Ver.2.00）」に準拠するとともに、学識経験者等からなる「相模灘沿岸高潮浸水想定検討会」を設置し、技術的な助言をいただきながら検討を進めました。

相模灘沿岸高潮浸水想定検討会について

（基本的な設定条件）

- 1) 我が国既往最大規模等の台風（室戸台風の中心気圧と相模灘周辺において被害が発生した台風を参考にした移動速度、伊勢湾台風の暴風半径）を想定
- 2) 相模灘に最大規模の高潮を発生させる台風経路を設定
- 3) 高潮と同時に河川での洪水を考慮
- 4) 最悪の事態を想定し、堤防等の決壊を見込む

（高潮浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図）

本県の高潮浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域図は、以下でご覧になれます。

[高潮浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図](#)

[高潮浸水想定区域図の概要（PDF：560KB）](#)

[高潮浸水想定区域図について（解説）（PDF：4,689KB）](#)

高潮氾濫発生情報

高潮氾濫発生情報について

平成27年の水防法改正により、高潮により相当な損害が生じるおそれがあるとして指定した海岸について、避難の判断に資するよう、海岸の水位を周知する制度が創設されました。これに伴い、高潮による災害の発生を特に警戒すべき水位として「高潮特別警戒水位」を設定し、県は、海岸の水位がこれに達した場合に、「高潮氾濫発生情報（避難情報等における警戒レベル5相当情報）」を発表することとされました。

なお、警戒レベル5相当情報は、避難ができず、いまだ危険な場所にいる居住者等が、高い場所へ退避するなど、速やかに身の安全を確保するための情報であり、避難指示は、警戒レベル4相当情報（気象庁が発表する高潮警報等）で発令されます。

[高潮氾濫発生情報について（PDF：189KB）](#)

今後の取組

今後は、「高潮浸水想定区域図」等を踏まえ、県と市町が連携して、高潮による災害から県民のいのちを守るための対策に取り組んでいきます。

[いいね](#) [ツイート](#)

このページに関するお問い合わせ先

県土整備局 河川下水道部砂防海岸課
[県土整備局河川下水道部砂防海岸課へのお問い合わせフォーム](#)
 なぎさグループ
 電話：045-210-6514

かながわの海岸・港湾

階層リンク

東京湾沿岸高潮浸水
討会について

「高潮浸水想定区域
図」について

相模灘沿岸海岸保
画策定懇談会

東京湾沿岸海岸保
画

海岸保全基本計画
について

相模湾沿岸海岸保
画を改定しました

相模灘沿岸高潮浸
水討会について

東京湾沿岸におけ
る高潮浸水想定区域
について

津波災害警戒区域
について

海岸水難事故防止
について

相模灘沿岸海岸保
画

県の重点施策

ME-BYO 未
来都市

ヘルスケア・ニュー
シティ

ROBOT TO
さがみロボ
ット

県内地域振
興

かながわスマートエ
コノミー

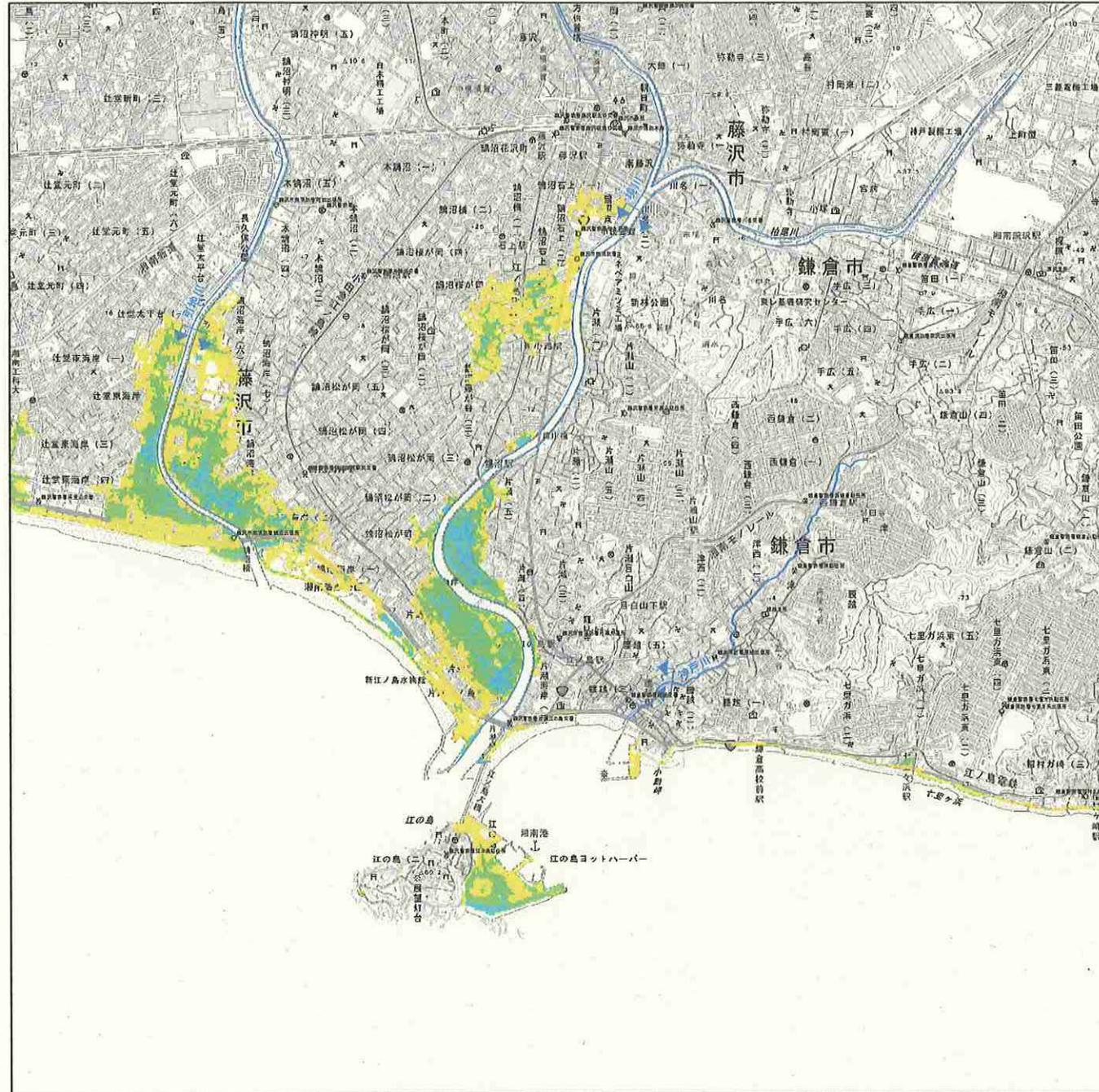
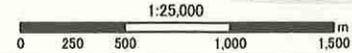
東京2020
オリンピック・パラリン
ピック

MAGCUL
MAGNET CULTURAL PROJ
ECT

とよみ
未来都市

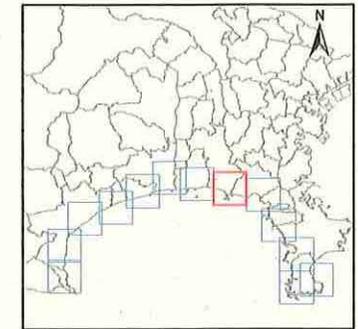
SDGs 未来都市
SDGs Future

高潮浸水想定区域図（浸水区域及び浸水深）



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
鎌倉市
藤沢市



【凡例】

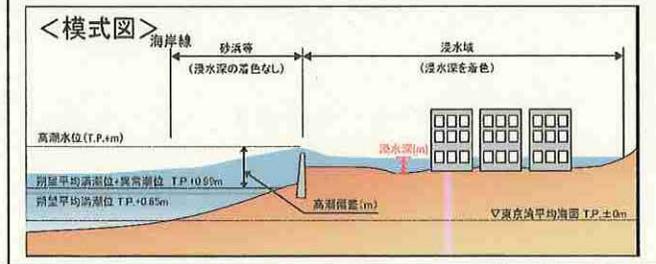
- 最大浸水深
- 10m以上～
 - 5m以上～10m未満
 - 3m以上～5m未満
 - 1m以上～3m未満
 - 0.5m以上～1m未満
 - 0.3m以上～0.5m未満
 - 0.01m以上～0.3m未満
- 高潮の遡上等が明らかな区間の上流端

【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法（昭和24年法律第193号）第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）、浸水の継続時間（浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・越波）を4種類の図面で表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模湾沿岸で潮位偏差（実際の潮位と天文潮位の差）または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局部的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のために、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。

【用語の解説】

浸水区域：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域
浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び電子地形図25000を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs106)

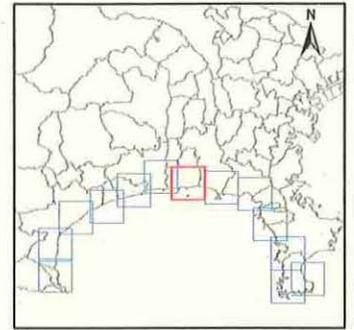
高潮浸水想定区域図（浸水区域及び浸水深）

1:25,000
0 250 500 1,000 1,500 m



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
藤沢市
茅ヶ崎市



【凡例】

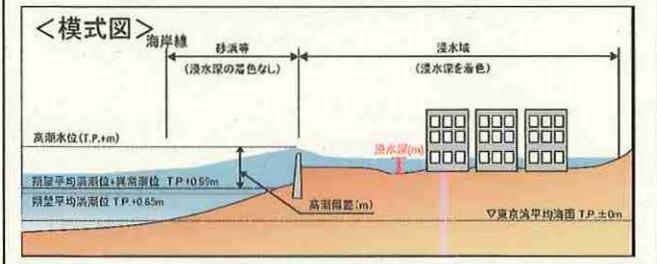
- 最大浸水深
- 10m以上～
 - 5m以上～10m未満
 - 3m以上～5m未満
 - 1m以上～3m未満
 - 0.5m以上～1m未満
 - 0.3m以上～0.5m未満
 - 0.01m以上～0.3m未満
- 高潮の遡上等が明らかな区間の上流端

【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法（昭和24年法律第103号）第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）、浸水の継続時間（浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・越波）を4種類の図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模湾沿岸で潮位偏差（実際の潮位と天文潮位の差）または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。

【用語の解説】

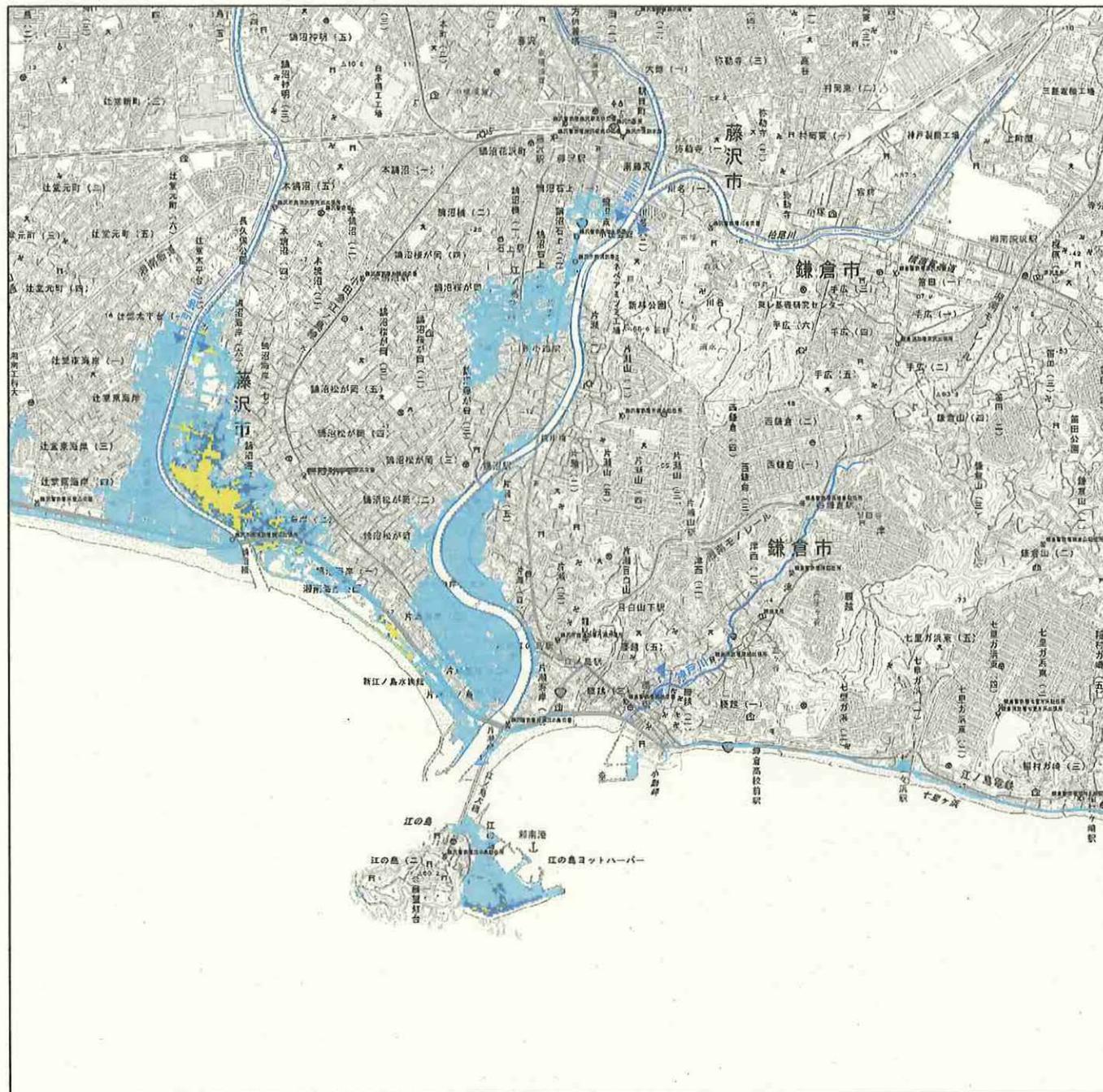
浸水区域：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域
浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び電子地形図25000を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 3JH6 106)

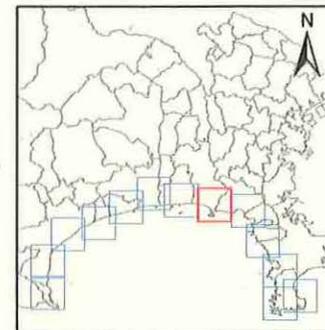
高潮浸水想定区域図 (浸水継続時間)

1:25,000
0 250 500 1,000 1,500 m



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
鎌倉市
藤沢市



【凡例】

- 浸水継続時間
(浸水深0.5m以上)
- 1週間以上
- 3日以上～1週間未満
- 1日以上～3日未満
- 12時間以上～1日未満
- 12時間未満
- または浸水深0.5m未満
- 高潮の遡上等が明らかな区間の上流端

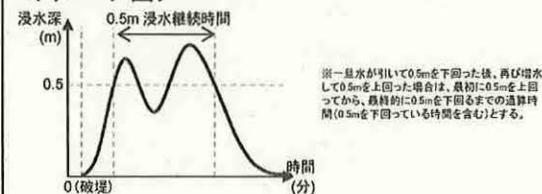
【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)、浸水の継続時間(浸水継続時間)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・越波)を4種類の図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模湾沿岸で潮位偏差(実際の潮位と天文潮位の差)または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水継続時間が長くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水継続時間が長くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。

【用語の解説】

浸水継続時間：0.5m以上の浸水が継続する時間
(0.5m未満の浸水はさらに継続する可能性があります。)

＜イメージ図＞



高潮浸水想定区域図 (浸水継続時間)

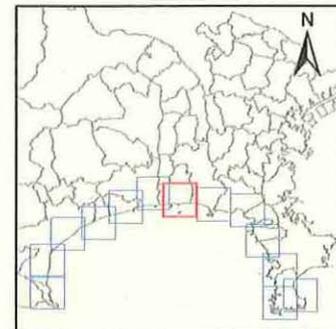
1:25,000
0 250 500 1,000 1,500 m

7/13



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
藤沢市
茅ヶ崎市



【凡例】

- 浸水継続時間
(浸水深0.5m以上)
- 1週間以上
- 3日以上～1週間未満
- 1日以上～3日未満
- 12時間以上～1日未満
- 12時間未満
または浸水深0.5m未満
- 高潮の遡上等が明らかでない区間の上流端

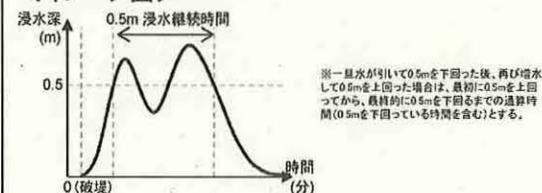
【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)、浸水の継続時間(浸水継続時間)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・越波)を4種類の図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模灘沿岸で潮位偏差(実際の潮位と天文潮位の差)または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水継続時間が長くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水継続時間が長くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。

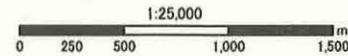
【用語の解説】

浸水継続時間：0.5m以上の浸水が継続する時間
(0.5m未満の浸水はさらに継続する可能性があります。)

＜イメージ図＞



家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流)

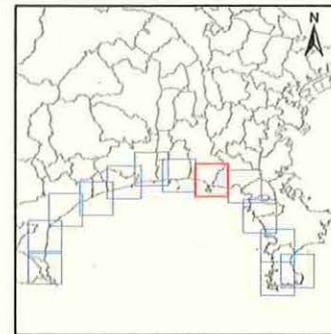


【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
鎌倉市
藤沢市

【凡例】

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 高潮の遡上等が明らかな区間の上流端



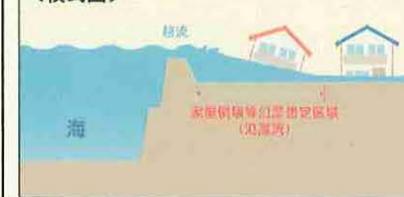
【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)、浸水の継続時間(浸水継続時間)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・越波)を4種類の図面で表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模湾沿岸で潮位偏差(実際の潮位と天文潮位の差)または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合もあります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局部的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)は、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態としていること、家屋の倒壊等の指標として木造家屋のものを用いること等、一定の仮定を与えて算定したものです。このため、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

【用語の解説】

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)：家屋の流失・倒壊をもたらすような高潮・洪水の氾濫流が発生するおそれがある範囲

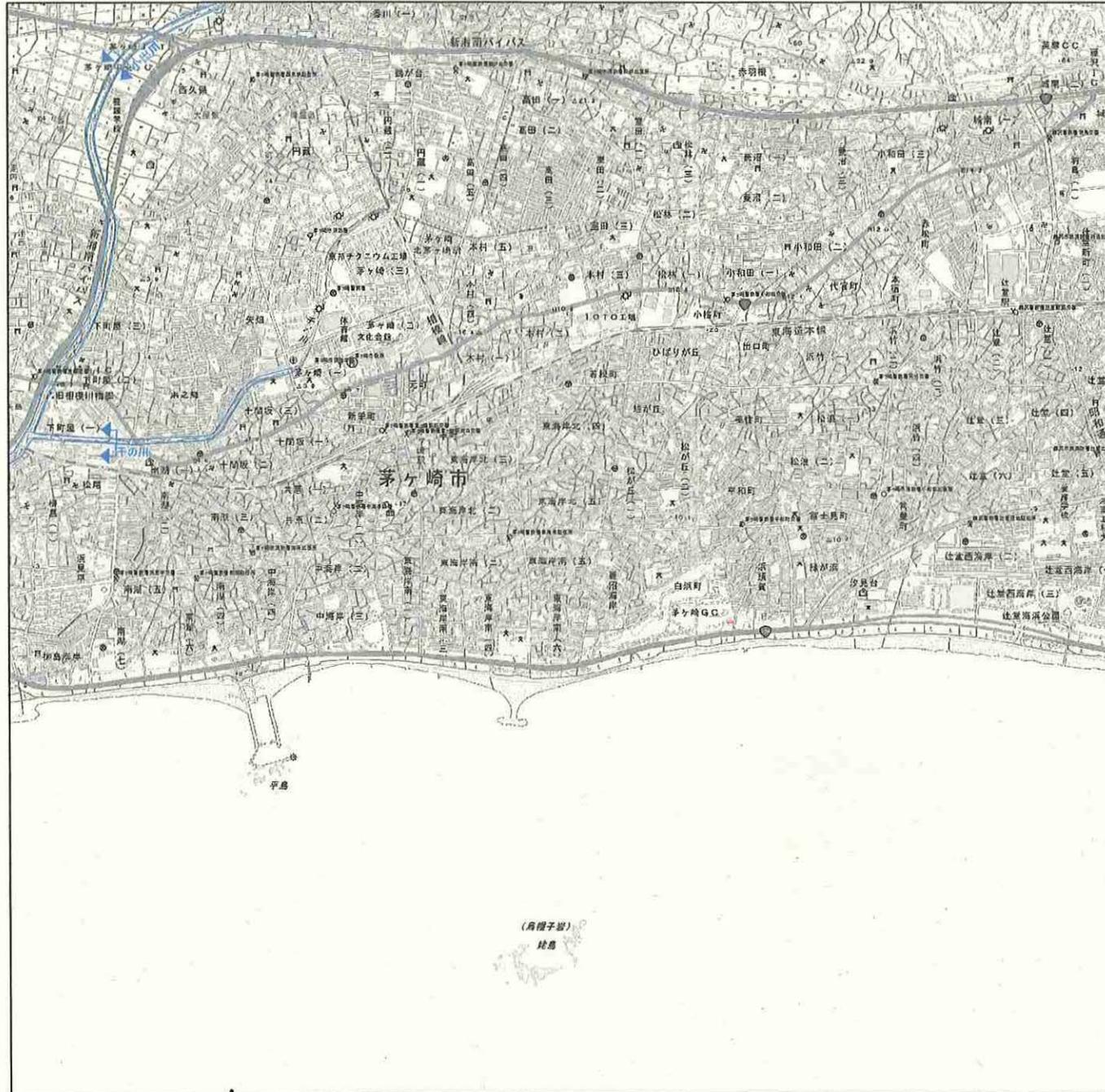
＜模式図＞



この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び電子地形図25000を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs 106)

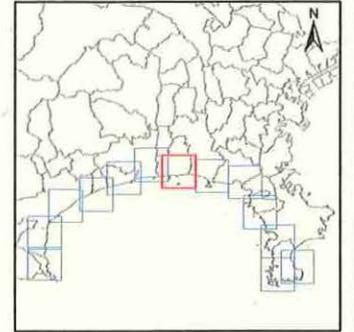
家屋倒壊等氾濫想定区域図 (氾濫流)

1:25,000
0 250 500 1,000 1,500 m



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
藤沢市
茅ヶ崎市



【凡例】

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 高潮の遡上等が明らかな区間の上流端

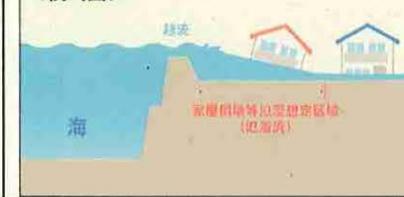
【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)、浸水の継続時間(浸水継続時間)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・越波)を4種類の図面で表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風より、相模瀬川沿岸で潮位偏差(実際の潮位と天文潮位の差)または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局部的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)は、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態としていること、家屋の倒壊等の指標として木造家屋のものを用いること等、一定の仮定を与えて算定したものです。このため、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

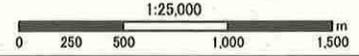
【用語の解説】

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)：家屋の流失・倒壊をもたらすような高潮・洪水の氾濫流が発生するおそれがある範囲

<模式図>



家屋倒壊等氾濫想定区域図 (越波)



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
鎌倉市
藤沢市

【凡例】

家屋倒壊等氾濫想定区域
(越波)

家屋倒壊等氾濫想定区域
→ 高潮の遡上等が明らかな
区間の上流端

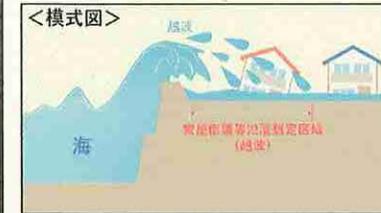


【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法(昭和24年法律第193号)第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)、浸水の継続時間(浸水継続時間)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・越波)を4種類の図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模灘沿岸で潮位偏差(実際の潮位と天文潮位の差)または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(越波)は、護岸・堤防等を越えて飛散してきた越波水塊が直接作用する可能性のある範囲を、越波による家屋の流失・倒壊の危険性のある範囲として着色して示したものです。このため、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

【用語の解説】

家屋倒壊等氾濫想定区域(越波)：家屋の流失・倒壊をもたらすような越波が発生するおそれがある範囲



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び電子地形図25000を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs106)

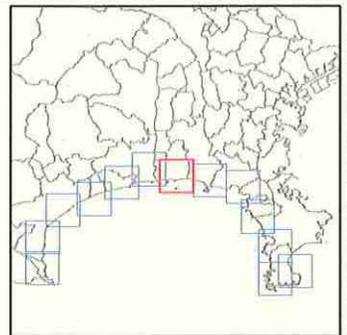
家屋倒壊等氾濫想定区域図（越波）

1:25,000
0 250 500 1,000 1,500 m



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町
藤沢市
茅ヶ崎市



【凡例】

家屋倒壊等氾濫想定区域
(越波)
 家屋倒壊等氾濫想定区域
 高潮の遡上等が明らかな
区間の上流端

【留意点】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法（昭和24年法律第193号）第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）、浸水の継続時間（浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・越波）を4種類の図面で表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、相模灘沿岸で潮位偏差（実際の潮位と天文潮位の差）または越波量が大きくなる複数の経路・移動速度を設定して、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数のシミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深及び浸水継続時間や、家屋の流失・倒壊の危険がある区域を抽出し示しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下街等の地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドックなど、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、一級、二級河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生することなど、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- この区域図は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町が作成するハザードマップ等を活用してください。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（越波）は、護岸・堤防等を越えて飛散してきた越波水塊が直接作用する可能性のある範囲を、越波による家屋の流失・倒壊の危険性のある範囲として着色して示したものです。このため、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。

【用語の解説】

家屋倒壊等氾濫想定区域（越波）：家屋の流失・倒壊をもたらすような越波が発生するおそれがある範囲

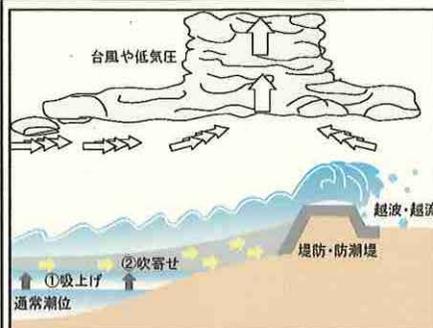
＜模式図＞



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び電子地形図25000を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R3JHs106)

神奈川県における相模灘沿岸高潮浸水想定区域図の概要

高潮とは



高潮は、台風や発達した低気圧が通過する際、海面（潮位）が大きく上昇する現象です。
満潮と高潮が重なると高潮水位はさらに上昇して、大きな災害が発生しやすくなります。

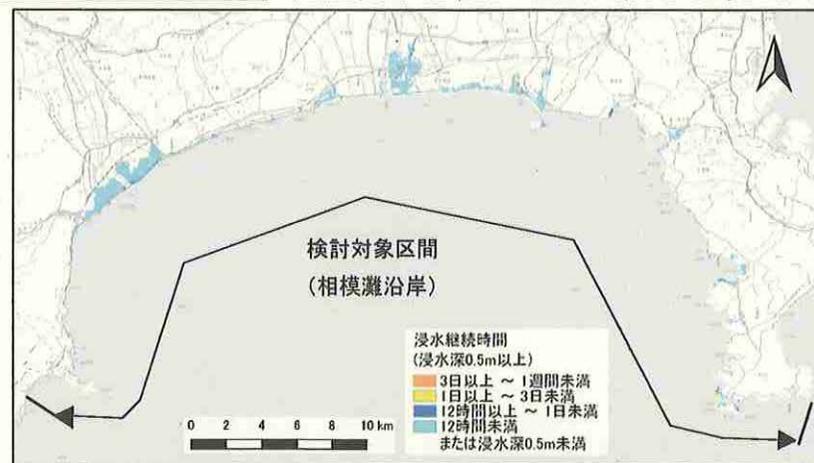
- 高潮は主に、①気圧の低下による吸上げ、②風による吹き寄せにより発生します。
- 台風の中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。
- 気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。
- さらに、強風が海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ、海面が上昇します。

水防法の改正と県の取組み

- 高潮に対する避難体制等の充実を図るため、平成27年5月に水防法が改正され、想定し得る最大規模の高潮に係る浸水想定区域を公表する制度が新たに創設されました。
- 本県では、地盤が低く、地下街なども多い、東京湾沿岸での検討に先行して着手し、平成31年4月には全国初となる浸水想定区域の指定を実施しました。
- なお、令和2年6月の「高潮浸水想定区域図作成の手引き」の改定を受け、令和3年度より東京湾沿岸における高潮浸水想定の見直し検討に着手します。
- 平成30年度より、東京湾沿岸に引き続き、相模灘沿岸での検討を進め、令和3年3月30日に検討会におけるシミュレーション結果を速報値として公表しました。
- 今般、相模灘沿岸における高潮浸水想定区域の指定、並びに高潮特別警戒水位を設定しましたので、令和3年5月28日に公表します。

市町毎の浸水状況

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）

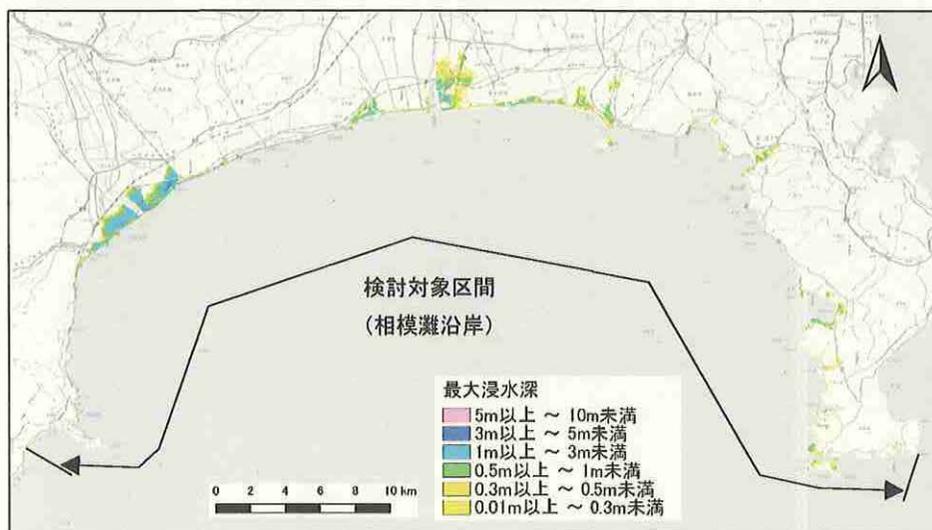


市町名	浸水面積 (km ²)	最大浸水深 (m)	浸水継続時間 最大値 (h)
横須賀市	1.1	2.6	80
三浦市	1.3	2.8	93
葉山町	0.2	2.7	86
逗子市	0.6	2.4	69
鎌倉市	0.2	3.1	24
藤沢市	2.1	3.3	35
茅ヶ崎市	4.2	3.8	20

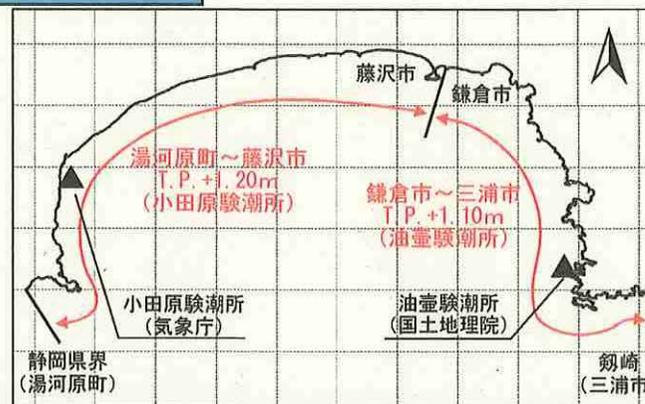
市町名	浸水面積 (km ²)	最大浸水深 (m)	浸水継続時間 最大値 (h)
平塚市	0.8	3.2	8
大磯町	0.6	4.9	41
二宮町	0.2	3.8	46
小田原市	6.1	5.3	67
真鶴町	0.2	4.0	44
湯河原町	0.1	2.5	28
計	17.7	—	—

市町毎の浸水状況

高潮浸水想定区域図（最大浸水深）



高潮特別警戒水位



今後の対策

- 気象警報の発表状況等に応じて、各市町が総合的に判断し、避難指示を発令します。
- 海岸の水位が水防法第13条の3に規定される高潮特別警戒水位に達した場合は、水防管理者等に通知し、必要に応じて報道機関の協力を求め、皆様に屋内等での安全確保を呼びかけます。
- また、市町は避難場所や避難経路等を記載したハザードマップの作成等を行います。